

# 身近な公園で「アクショヨン」はじめての一步

アクション事例紹介と交流トーク

～みんなで育てるまちの公園～

# 報告レポート

北エリア 10/27 @多摩区役所

10月27日に多摩区役所で開催した本イベントは、川崎市の「みんなが気持ちよく、いきいき過ごせる公園」事業の一環として、身近な公園で“何かを始めてみたい人”の一步を後押しすることを目的に企画したものです。当日は20名の方にご参加いただき、既に公園活動を行う団体の事例紹介と、「公園でやってみたいこと」を語り合うワークショップを実施しました。公園を“みんなで育てる居場所”として捉え直すきっかけとなる時間となりました。

## 森カフェ



@有馬ふるさと公園

ピオトープが作れないかと公園を訪れた際、水場ではなくトチの実を見つけたことが、「ここで何かできるかもしれない」という直感につながったのが森カフェの始まりです。樹木医の友人と“あるものだけでまずやってみる”と小さな実験を重ね、清掃後のコーヒータイムで人が自然に笑顔でつながる様子から活動が動き出しました。助成金活用やロゴづくり、SNS発信、協議会化など、仲間の得意を持ち寄りながら無理なく続けています。

@moricafe\_arma

## 登戸つくりと公園管理運営協議会

“みんなの木陰をつくる”——このテーマを軸に、住民や保育園、学生、専門家が毎月集まり、話し合いと活動を積み重ねてきました。模型や写真を見せ合いながら、「こんな場所がいいよね」とイメージを共有し、決めごとは多数決ではなく“みんなが反対じゃない”という、「ふんわりし合意」で進めてきました。地域の歴史ある石材を使ったベンチや、芝生・築山の手入れなど、“作って終わり”ではなく“育て続ける公園”として、対話を重ねながら歩み続けています。

@noborito.tsukurito.park



@登戸つくりと公園

## エリーズカフェ



@養生ヶ丘公園



子ども食堂が店内に入りきらなくなってしまって、公園でやってみよう…と移ったのが私たちの公園活動のきっかけでした。そこから、公園清掃や季節のイベントなど、活動の幅が自然と広がっていきました。子どもたちや障害のある利用者さんが“店員さん役”に挑戦したり、草むしりを頑張った子がかき氷を楽しんだり…やりたいことを自分たちでやってみる場が、公園の中に生まれているのを感じます。今では、公園が地域と子どもたちをつなぐ大事な拠点になっていて、この場所だからこそ育つ時間があると実感しています。

@eriis.cafe



## ワークショップで出たご意見



- プレイグリーンパークという子どもをおもいきり遊ばせるイベントを行いたい！
- 初めての人はボラ活動に行きづらいと思うので、初心者さんの日を作りたい！
- 堆肥づくりをして、カブトムシ観察したい！
- 農業の可能性が気になる！
- 音楽でつながるイベントを行う etc.

